

## II 茶業振興計画重点事業

### 1 重点事業の位置づけ

菊川市は、深蒸し茶発祥の地としての誇りを持ち、全国的にも茶産地「お茶の菊川」として評価を受け、おいしい茶づくりに励んできました。平成25年3月(平成30年3月改定)に菊川市茶業振興計画を策定し取り組んできましたが、後継者不足や高齢化の進行、茶価の低迷など様々な課題に直面し、茶業情勢は益々厳しくなっています。

第2次菊川市茶業振興計画に基づき各取り組みを推進していくことは、もちろんであります。今後の茶業の維持・発展の基礎となる、生産における「菊川の茶生産を支える成長力ある経営体の育成」、流通における「菊川茶の国内外への販路拡大」、文化・消費における「緑豊かな景観を活かした菊川茶文化の創造と情報発信」を重点事業として位置づけ、取り組んでいきます。

また、本振興計画の各取り組みを進めていくためにも(仮称)菊川市茶園集積整備・茶工場再編推進協議会、(仮称)菊川市有機栽培推進協議会、(仮称)菊川茶輸出促進協議会の設置について、重点事業として協議していきます。

### 2 重点事業

#### (1) 菊川の茶生産を支える成長力ある経営体の育成

菊川市人・農地プラン地域計画法定化に向けて、地域の生産者と話し合いを行い、集積や集約、再編について方向性を出していき、地域の中心的な担い手や組織経営体を育成していく。

#### (2) 菊川茶の国内外への販路拡大

国内に向けた販路拡大については、人口減少や高齢化などからネット販売などが拡大しており、EC市場(電子商取引)に向けた販路拡大が有望である。消費者ニーズに対応した商品開発や消費拡大イベントなど販路拡大に取り組んでいく。

国外に向けては、有機栽培の推進をはじめ輸出に関する専門的知識の共有と協議を進めていく。

#### (3) 緑豊かな景観を活かした菊川茶文化の創造と情報発信

本市の緑豊かな茶園風景である景観的価値のアピールと茶生産経営体と連携した体験型グリーンツーリズムを中心に、本市の魅力や情報発信をしていく。併せて、関係人口の増加や本市の知名度向上を図っていく。

## Ⅱ 茶業振興計画重点事業

---

### (4) 協議会の設置について

(仮称)菊川市茶園集積整備・茶工場再編推進協議会、(仮称)菊川市有機栽培推進協議会、(仮称)菊川茶輸出促進協議会について、その役割と構成メンバーについて令和5年度中に検討し、令和6年度を目途に会議を開催し、本振興計画を推進するための協議や評価を進めていくこととする。